

出雲國神仏霊場巡礼
**神話の国の
社寺を巡る**

目にも美味し、口にも楽し
山陰の春を嗜む
春だから出かけた
山陰の春は百花繚乱



あおふしがさしんじ
青柴垣神事
美保神社にて、毎年4月7日の例祭に行われる神事。あびす様こと事代主神が、父である大國主命の命を受けて高天原からやってきた使者に國譲りを承諾し、海中に造られた青柴垣にお隠れになったという古事記の「國譲り」神話を再現。豊漁と航海安全を祈願する神事です。
○場所／島根県松江市美保関町美保関608
○アクセス／JR松江駅から一畑バス万原線(美保関ターミナル行)乗車、「万原停留所」下車、美保関コミュニティバスで「美保神社入り口」バス停下車、徒歩すぐ
○お問い合わせ／美保神社
TEL:0852-73-0506

グッとくる山陰

2015 Spring **春**
ご自由にお持ち帰りください

多種多彩に
花々しい
とつとり花回廊

国立公園・大山のふもとに広がる、国内最大級のフラワerpark。1年中、満開の花々にいやされる一大スポットです。今年にかけて、開園15周年の記念イベントが開催されており、約3500株の洋ランを集めた「らんまつり」(3月29日



●とつとり花回廊
鳥取県西伯郡南部町鶴田110
アクセス／JR米子駅より
無料シャトルバスに乗り約25分
営業／9時~17時(但し、12月~3月は16時30分
電話／0859-48-0330
休園日／無休(12月~3月は第1、第3火曜日)
入園料／大人1000円(12月~3月は700円)

まで)が、美しくフィナーレを飾っています。広大な園内には、大温室フラワードームや地上25m・1周1kmの展望回廊、1万㎡の花の丘やハーブガーデンなど、植物を楽しめるエリアに加えて、レストランやビアカフェも充実。4月になれば、オランダのキューケンホフ公園デザインによるチューリップや、可憐なビオラの花が満開となり、5月には、アイスランドポピーやヒスイカズラなどが、可憐な姿を見せてくれます。

山陰の春は 百花繚乱

桜からチューリップへ、
チューリップから牡丹へ、
花やかな春のリレーがはじまりました。

春だから出かけた

牡丹の島に 春が来た 大輪の園、由志園

牡丹の花と高麗人蔘の里として知られる大根島に、1万坪の日本庭園を有する由志園があります。

ただ今、開園40周年を記念する『牡丹コラボレーション 屋崎省吾2015』を開催中(3月31日まで)。園内には、2年中、牡丹の開花を見ることができ「牡丹の館」をはじめ、丹



念に手入れされた日本庭園を眺めながら、ゆつくり過ごせるお食事処や料亭なども充実しています。由志園で春といえば、牡丹の花の満開の季節。4月中旬頃から5月上旬頃まで、最盛期を迎えます。牡丹の切り花が、水面を埋めるように浮かべられた『3万輪の池泉牡丹』は優雅で豪華。4月29日から5月6日までの8日間、今年も開催が予定されています。

●由志園
島根県松江市大東町入1-2602
アクセス／JR松江駅より直行バスで約25分
JR境港駅より直行バスで約16分
営業／8時30分~17時30分(3月、10月)
電話／0852-76-2555
休園日／無休
入園料／大人800円

グッとくる山陰 春号

発行元／JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
☎0859-32-0255 *記載の情報は、2015年2月28日時点のものです。



「山陰いいもの探検隊」WEBサイト更新中!! 山陰いいもの 検索

出雲國神仏霊場巡礼

神話の国の 社寺を巡る

なぜでしょう、日本人は、神社仏閣を訪れると、信仰や宗派にこだわりなく、自然と手を合わせています。その分け隔てのない心が、なぜか美しいと思えるのです。出雲神話が伝わる鳥根・鳥取両県の20社寺が連携し、本格的な神仏和合の巡拝の道『出雲國神仏霊場巡り』が提唱され今年でちょうど10周年。歴史学者・藤岡大拙先生の導きで、巡拝の一步を踏み出します。



出雲國神仏霊場巡拝の証、美保神社の御朱印、「知」の文字。

「出雲國神仏霊場 第8番」美保神社

全国におよそ3千社の ゑびす様の総本宮

こう言つては失礼かもしれませんが、美保関は、なんだかカワイイ港町です。海風に揺れるイカの白いカーテンを見ながら、小さな港に背を向けて立つと、すぐ目の前に鳥居がゑびえ、足元のマンホールには鯛のイラスト。なるほど、美保神社の御祭神は、鯛を抱える姿でお馴染みの、ゑびす様こと事代主神コトシロノカミしてもう1柱が、ゑびす様の義母にあたる三穂津姫命。2柱のお陰様で、古くから、漁業・海運、商売繁盛、五穀豊穡、安産・子孫繁栄の神社として信仰を集めています。創建は明らかではありませんが、天平5年(733)編纂の『出雲国風土記』には、すでに社名が記されています。

本殿の屋根を飾る2つ並んだ千木の削ぎ方を見ると、男神様と女神様の違いがわかります。向かって左が外削ぎのゑびす様、右が内



美保神社の参道を行く青柴垣神事の一場面。鳥居越しに見えるのは鮮やかな港の神事光景。



山陰いいもの探検隊 隊長

しまね文化振興財団 理事長

藤岡 大拙

1932年鳥根県斐川町生まれ。しまね文化振興財団 理事長郷土の語部として、古代出雲の魅力や現代に継承される出雲人の精神性を日本中に発信し続ける出雲学の提唱者。ユーモア豊かな語り口から聞こえてくる出雲神話はとても興味深く、また分かりやすい視点で人々を神話の世界に引き込みます。



美保神社の神職さんや氏子さんなど、信仰の篤い人々は、今でも鶏肉・鶏卵を食べないのだそう。それは、こんな理由から。――夜毎、中海を船で渡り、溝ミヅクイ姫のもとに通つていらしたゑびす様。帰る合図は、番鶏ばんけいのトキの声。ある日、鶏は時間を間違え早く鳴いてしまった。ゑびす様は、まだ暗い海に漕ぎ出し、途中、櫂を流してしまわれた。仕方なく左足で漕いでいると、ワニ(サメ)にかまれて負傷。以来、鶏を忌むようになられたという神話。――人間味あふれて、なんとも親近感の湧くゑびす様です。美保神社の2柱、ゑびす様と三穂津姫命は、最高峰の音楽の守護神でもあり、とりわけゑびす様は鳴り物(楽器)好きで、奉納された楽器は数え切れず。一流アーティストの奉納コンサートでも知られ、かの小椋さんもそのひとりなのです。

ゑびす様は ニワトリがお嫌い 鳴り物がお好き

削ぎの三穂津姫命。この特殊な社は、美保造であるいは比翼大社造と呼ばれて、国の重要文化財に指定されています。

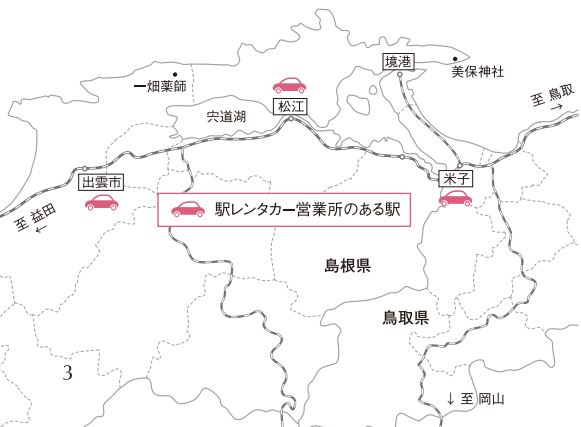
拜殿では、毎日休みなく、午前9時と午後3時30分の2回、御饌祭と呼ばれる奉納舞が行われています。厳かな雅楽の調べに合わせて、真っ白な千早ちばやに緋袴姿の巫女さんの舞。それはあまりに神々しくて、思わず息を凝らして見入ってしまいます。



右／船蔵を模した拜殿を正面に、美保造の本殿が後方にそびえる美保神社。左／美保関を描いた古絵図。風待ち港の風景と、上部に荘厳な美保神社。

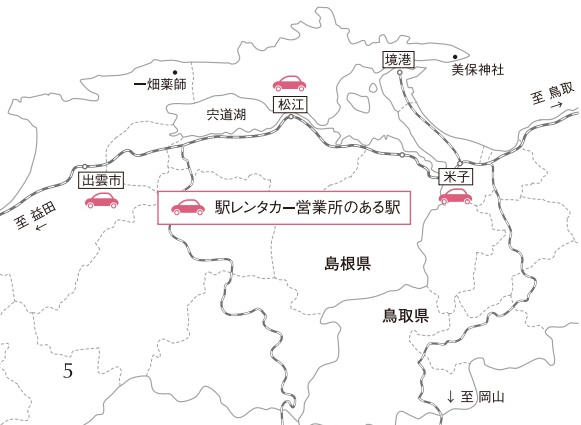
●美保神社

鳥根県松江市美保町美保関608
アクセス／JR松江駅から細バス
万原線(美保関ターミナル)下車、
「万原停留所」下車、美保関コミュニティバスで
「美保神社入り口」バス停下車、徒歩すぐ
電話／0852-730506





八万四千仏／仏教の八万四千の教えを御仏像として、信仰の証に奉納されている仏像群。奉納主の願いを仏像の体内に納め、永代にわたって供養が続けられます。



小泉八雲も 水木しげる氏も 石段を登って

一畑薬師には、『お茶湯』と呼ばれる特別な

1300段余りの石段を登って辿り着く、目のお薬師様、一畑薬師。その創開の縁起は、次の様。——与市という名の漁師が、ある日、一畑山のふもとに広がる、日本海は赤浦の海中から、金色に輝く薬師如来像を引き揚げた。その後、夢の中で「千束の薬を身にまとい、崖から飛び降りよ。そうすれば母の眼病は快癒する」と薬師如来様からのお告げ。もちろん与市は迷わず飛び降りた。すると、自身が無傷であつたうえ、盲目だった母の目が開いたという。与市は、この地にお堂を建て、薬師如来像を御本尊として安置した。それが、一畑薬師の始まり。——金色に輝く薬師如来様は、今も本堂の厨子の中。秘仏として大切に安置されています。

お茶があります。境内の薬草畑「一の畑」で採れたお茶の葉を煎じ、一畑山に湧き出る清水で淹れ、薬師如来にお供えして、ご祈念したものの。創開当時から、万病に効くといわれ、ことに眼病を患っている人は、まぶたの上にお茶を塗り、両手を合わせて「真言を唱えていただくことで、目を守ってください」と伝えられています。

出雲地方に縁の深い小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）は、10代の頃にケガをして左目を失明していたため、このお茶湯を持ち帰ったといわれています。

そして、広大な境内でしきりに目にするのが、マンガ『ゲゲゲの鬼太郎』の目玉おやじのブロンズ像。なんでも、作者の水木しげる氏は、幼少の頃、一畑薬師を篤く信仰していた「のんのんばあ（水木家のお手伝いさん）」に連れられて、よく訪れていたのだそう。目玉おやじ誕生のヒントが、もしか、目のお薬師様にあったのではと想像してみると、なんだか愉快な気持ちになつてきます。



特別に本堂にて、飯塚管長のお話を聞く。左より、山陰いもの探検隊の藤岡大拙隊員と御抄奈々隊員、一畑薬師の飯塚大幸管長。

●一畑薬師
島根県出雲市小境町803
アクセス／JR出雲市駅より
一畑電車松江しんじ湖温泉行き「畑口」下車、
バスで約10分
電話／0853-67-0111



「出雲國神仏霊場 第3番」一畑薬師 千百年を超える霊場 目のお薬師様

島根半島の真ん中、宍道湖を見下ろして、東に大山、西に三瓶山を見晴らし、遙かに中国山地まで望める、標高200mの一畑山の頂に、薬師信仰の総本山、一畑薬師として知られる「畑寺」があります。創開は平安時代、寛平6年（894）、奇しくも「やくし（薬師）」の年。ひとりの漁師が海から薬師如来像を引き揚げて、お祀りしたのが始まりです。その後、盲目の母の目が開いたり、戦国の時代に幼い子どもたちの命が助かったりしたことから、目のお薬師様、子どもの無事成長の仏様として、広く信仰されています。

8万坪という広大な境内には、薬師本堂をはじめ、八万四千仏堂、観音堂、十六羅漢堂などが、見応えも十分に鎮座しています。



出雲國神仏霊場巡拝の証、一畑薬師の御朱印。「目」の文字。元々は「医」でしたが今年から教えの一文字が変わりました。

目にも美味し、口にも楽し

山陰の春を嗜む

たしな



上記マークのついた商品につきましては、JR 駅構内の店舗などで取り扱っております。



美保関で育まれた

伝統の味

歴史香る美保関。その地で150年以上醤油を作り続ける太鼓醤油店の「みほ太鼓」(400ml ¥800)は熟成した液汁を大釜でここと煮込みじっくり仕上げた甘露醤油。お刺身に最適なお醤油です。美保関の風土とともに、お楽しみくださいませ。



大鼓醤油さん
伝統とこだわりの製法で造られた極上のお醤油です!

●太鼓醤油店 島根県松江市美保関町美保関547
☎0854-73-0133 www.takiguchifreemakeshop.jp

松江の幻想的な 美しさを形に



元々こちらはお酒の名前ではなく、松江市立女子高の生徒たちが松江に降る雨を「緑雫(えにしずく)」と名付けた企画から作られた商品。松江に降る雨は、心をリセットし、あなたのもとへ素敵な縁を運ぶ雨という意味を持ちます。そのプロジェクトのなかで作られたこの「緑雫」(180ml ¥648)。島根県産の佐香錦を使ったさっぱりと飲みやすいお酒です。松江駅の売店にて取扱い。

蔵元兼社長
岩橋 弘樹さん

ほのかに香る純米の香りと、さわやかな味わいが特徴です。



●國陣酒造株式会社
島根県松江市東茶町8番地
☎0852-26-0123 www.kokkai.jp



変わらぬ味を 守り続けて 40年



大山地鶏のさくら卵や大山の湧き水、国産原料にこだわっています!



島根県松江市八束町波入12602
☎0852-76-2255
www.yushien.com

昭和50年半ばに、大根島名物として誕生した「ぼたんまんじゅう」(8ヶ入 ¥700)。優雅さの中にあるぼたんの姿を、かわいらしいおまんじゅうに焼き上げました。国産原料にこだわった豊かな風味は開園当初から変わることなく、お客様に愛され続けています。旅のおみやげにお茶づけに、ぜひ御賞味ください。

山陰の探検隊がゆく

山陰の長い冬が終わり、心地よい小春日和が始まるうとしてます。「山陰の探検隊WEBサイト」もオープン以来、たくさんの方のアクセスをいただいたキョウエイブックなどでも山陰の「いいもの」が各方面へ拡散されているようです。さて今回のコラム対談は(有)亀井や代表取締役社長であり鳥取県物産協会会長の小谷寛隊長と皆生温泉「皆生菊乃家」の若女将、柴野寛子隊長です。

K…小谷 寛隊長
S…柴野 寛子隊長

K 先日(仁風閣での「いいもの座談会」、お疲れさまでした。私にとって初めての探検活動、本当に楽しかったです。

S 本当、楽しかったですね。それぞれのプロフィールショナルな方々がお集りになられたので、お話を聞いただけで大変勉強になりました。まだまだ私も勉強しなくちゃと感じました。

K そう、様々な分野の代表者が集まる長年仕事をしても気付かなかった事が発見できる、特に県外から来られた内山キャプテンの、いわゆる外からの視点というのは地方にとって、とてもありがたい意見なんです。実際に観光されるのは県外からのお客様ですからね。

S 私はずっと東京で暮らしていた経験がありますが、山陰は本当に素材の宝庫だという事が分かりました。しかしそれは地元を離れないと分からない、地元根付いて頑張っているが故、良さに気付かない事が多いことは少しもったいないかなと思います。

K そういう意味では「山陰の探検隊」の活動は非常にいきっかけてありチャンスなんですよ、ああダメだね、あとはウェブの座談会、ページを見ていただければね、柴野隊長(笑)

S そうですね(笑)ウェブで詳しくご覧になれます。ムービーも見られますので皆様是非チェックしてください!

WEBではさらに詳しく、各隊員のプロフィールや探検記、座談会の様子などがご覧いただけます。ぜひ「山陰のいいもの」で検索してみてください。



最高級干し柿 上品スイーツ

日本橋千正屋総本店でも使用されている最高級の百市のほし柿を使用した「ひがいのブラック」贅沢にも百市のほし柿が丸々ひとつチョコレートでコーティングされています。チョコレートは甘さ控えめで、干し柿本来の上品な甘さを引き立てています。日本を代表する縁結びの神様出雲大社で商標登録された「ひがいのブラック」を是非ご賞味ください。

●有限会社ラ・セゾン洋菓子店
島根県出雲市天神町884-1
☎0854-23-1136
www.la-saison.co.jp



平野 隆三さん
極上の甘味をお楽しみください!



深い味わいと 香のこだわり

酒造好適米の代表ともいわれる島根県産の山田錦を自家精米で造った「ヤマサン正宗純米大吟醸無濾過原酒」(720ml ¥2,300)。味にふくらみはあるのに後味すっきり、きりっとしたのみ口。お酒本来の味と香を楽しみたい方にお勧めです。

●株式会社 酒持田本店
島根県出雲市平田町780
☎0854-92-0036 www.sakemochidai.jp



社氏 八十嶋 哲さん
華やかな香り、端麗な味、濃厚な含みと品格のあるお酒です。



昔ながらの 素朴な味わい

安来名物「清水羊羹」の起源は、平安時代に天台宗第三祖慈覚大師が遣唐の帰途にこの地に立ち寄り、唐で召し上がった美味しい羊の肝料理の話がきっかけで始まりと言われています。清水羊羹の正統として、昔から変わらぬ原材料、製法を守り、素材本来の味を引き出すよう努めている黒田千年堂の清水羊羹は、風味豊かな香りがする甘すぎない羊羹です。米子駅、松江駅の売店にて取扱い。

●有限会社 元祖 黒田千年堂
島根県安来市清水町110-1
☎0854-22-2560
www.kurodasenendo.com



黒田 謙介さん
芳ばしい香り、優しい口当たりをどうぞお楽しみください!

